

緊急企画

みんなで乗り越えよう、
我がクラブのコロナ対策

NPO法人A-lifeなんかん ＜熊本県南関町＞

世界中で甚大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症による影響は計り知れません。クラブが受ける影響も大きく、各クラブで試行錯誤している状況にあります。少しでも全国のクラブの力となるよう、今回は、NPO法人A-lifeなんかんの新型コロナウイルス感染症対策の取り組みを紹介いたします。

1 現在のクラブ状況

事務局が元気であることをアピール

2月下旬から自治体内で感染拡大防止のための措置が始まり、それに伴い委託を受けている事業（介護予防関連事業・社会体育移行事業・子育て支援イベント関連）や町内外の保育園への体育指導者派遣も徐々に中止へと向かいました。スポーツクラブ事業では現在全ての種目活動を中止している状況です。ちょうど会員の年度更新時期と重なり、入会・更新数は例年同時期と比べて1/2（約200人）と伸び悩んでいます（5/8現在）。

事務局は稼働 予防対策講じ一部事業を実施

そんな中、事務局はほぼ通常通り出勤。予防対策をしながらできる事業は実施し、事務所内ではこれまで疎かになっていたデータ整理や業務改善に取り組んだり、新年度事業への準備をしたりしています。スタッフが遠くからでも住民に元気に声がかけられるよう心がけています。

スピード感を持って、できることに取り組む

会員向けに「健康チェック表」を配布し検温の習慣化への取り組み <4月上旬から配布>
教室再開時には施設受付での検温等のチェックが課されるため、入会更新手続き時に健康チェック表を配布し毎日の検温を促しています。 * HPからダウンロード可 *

コロナウイルス対策チラシを全戸配布 <4月15日 行政配布便を活用>

町地域包括支援センターとの連携によりA-lifeで作成し、町内全戸配布と併せて一部企業にも社員用として提供。金融機関にも設置を依頼しました。

同チラシでは毎日の生活リズムを整え抵抗力を下げないように、自宅でできる運動等を紹介。QRコードから同じ運動の動画も視聴できます。この運動は介護予防事業として南関町全域で展開しているもので、社会体育移行事業等でも準備運動として実施中。介護予防運動教室参加者などに対し休止中も自宅での継続を呼びかけ、フレイル(身体的機能や認知機能の低下)予防も目的にしています。

あえて紙媒体とした理由は、ネット配信のみではITに明るくない方や環境が整っていない子どもたちの情報源に限られるため、このような時こそ地域に貢献すべきとの思いから実施しました。

●実施後の対象者反響

一般会員から好評—「健康チェック表」配布

児童生徒は学校から検温が課されているものの、それ以外の世代は個人での管理はそこまで進んでいなかった様子。一般会員からは「これは大事ですね」と声をいただくこともあり、一時期教室が再開できた際にも施設受付がスムーズに進みました。

好反響で地元紙が掲載 他自治体にも情報提供—対策チラシ配布

これまでの介護予防運動等の実施者以外の世代(企業を含め)からも、チラシを見て実際にやってみたとの反響をいただきました。後日この取り組みが地元紙に掲載されたことから、他自治体の個人からも問い合わせがあり、チラシをお送りしました。また、他県の団体にも情報を提供しました。

●実施後の事務局側の声

指導者側にも意識付けの効果ー「健康チェック表」配布

3月下旬からスタッフと外部インストラクターに毎日の検温を課したのがきっかけで、教室の地域指導者に対しても健康管理の意識付けが進み、事務局から会員に対して積極的に取り組み始めた後も、参加者管理の負担軽減につながりました。

行政側から高い評価と感謝ー対策チラシ配布

作成・配布とその費用負担の全てをA-lifeが担う前提で行政側に相談したところ、このような啓発の実施が急務であるものの、担当部署の対応が追いつかない状況であったことから、このような提案と即時の対応力に高い評価と感謝の声を頂き、信頼関係を築いています。

3

活動再開のタイミングは指導者の判断

スポーツクラブ事業ではほとんどの教室(種目活動)が公共体育施設で開催していることから、自治体の施設開放状況に合わせてその都度教室開催の基本スケジュールを事務局で検討し指導者に連絡。教室によって会員の年齢構成などが異なることから、実際の活動再開のタイミングは指導者に判断してもらっています。特に小中学生がメインの教室では学校や部活動の再開との兼ね合いを自治体から要請されているため、より密なコミュニケーションを心がけます。

再活用した事務局LINE(無料通信アプリケーション) 今後も展開を検討

この教室休止期間中に連絡手段として事務局LINEの再活用に取り組み、会員側としても必要性から積極的に登録が進んでいる状況で、一層の活用展開を検討しています。

法人格の有無で違いもー政府の資金対策活用

全体の運営資金としては、政府から出された対策を可能な限り活用するため複数の手続きを進めています。法人格の有無によって対応に違いがあるものもあり、ここにきて法人格の価値を感じているところです。

コロナ禍を契機に運営方法を前向きに見直し

今回のコロナウイルスによってクラブは思わぬ状況に陥っていますが、それぞれの事業の運営方法をリノベーションする機会と思い、今は前向きに事業を進めるために汗をかいています。

(NPO法人A-lifeなんかん 事務局長 西田 由実)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成17年1月23日(平成24年7月25日NPO法人登記)

所在地 熊本県玉名郡南関町

- 特 徴**
- ・総合型地域スポーツクラブと町体育協会が対等合併してできた組織。
 - ・教育部局だけでなく福祉部局の委託事業も行っている。
 - ・クラブの理念に基づき、スタッフの新規事業提案や開拓、働き方など柔軟に対応している。
 - ・他団体からの協力・協働要請にできるだけ応える。その際、お互い無料ではなく適正価格で実施し、価値化に努めている。
 - ・事務所が賃貸の空き店舗。商店街の中にある。

連絡先 〒861-0803 熊本県玉名郡南関町大字関町1283番地
 TEL 0968-57-9616 FAX 0968-57-9617
 URL <http://a-life-npo.com>
 E-Mail info@a-life-npo.com



コロナウイルス対策チラシ(運動紹介面)。
 右上のQRコードから動画の視聴できる。
 裏面は感染症対策情報を掲載。



配信したLINEメッセージ
 堅苦しくならないように注意。



会員登録時は、年に一度、皆さんのお声を
 を直に伺える機会です。左上は会員証と
 健康チェック表。